インバウンドの「変化の兆し」をいち早く

都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：9 月レポート

野村亮輔（副主任研究員）
稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

●10 月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図 1 及び表 4)、**9 月の訪日外客総数(推計値)は 218 万 4,300 人**であった(前月：215 万 6,900 人)。2019 年同月比-3.9%と前月(同-14.4%)からマイナス幅は 1 桁台に縮小した。なお、**中国人客を除いた総数は** 185 万 8,700 人(同+27.8%)で、**3 カ月連続でコロナ禍前を上回った**。また、同月の**出国日本人数は** 100 万 4,700 人で、2 カ月連続で 100 万人超の水準となった。19 年同月比では-42.6%と前月(同-43.1%)からマイナス幅は小幅縮小した。**7-9 月期**でみれば、訪日外客数は 666 万 1,894 人となった(4-6 月期：592 万 1,712 人)。19 年同期比では-14.4%と、**コロナ禍前の 8 割超の回復**となっている。同期の出国日本人数は 309 万 7,561 人となった(19 年同期比-43.9%)。

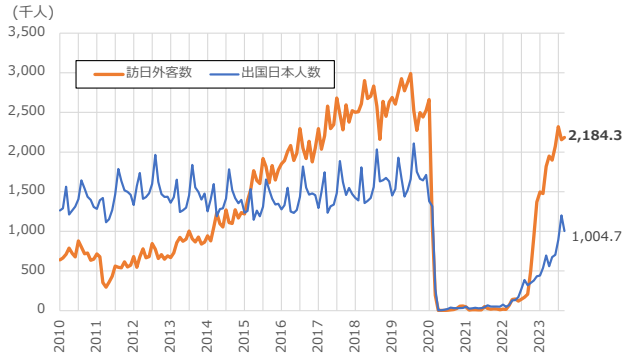
▶訪日外客数のトップ 5 を国・地域別にみると、9 月は**韓国が 57 万 400 人**(2019 年同月比+183.4%)**と最多であった**。次いで台湾が 38 万 5,300 人(同+2.4%)、中国が 32 万 5,600 人(同-60.2%)、米国が 15 万 6,600 人(同+23.1%)、香港が 15 万 1,100 人(同-3.1%)と続く(図 2 及び表 4)。

▶**目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば、7 月は 232 万 694 人**となった(2019 年同月比-22.4%)(図 3 及び表 5)。うち、**観光客は 210 万 8,438 人**と、**20 年 1 月**(228 万 7,755 人)**以来の**200 万人超となった(同-22.3%)。商用客は 9 万 5,646 人(同-37.7%)、その他客は 11 万 6,610 人(同-6.3%)であった。

▶観光客の TOP5 を国・地域別にみれば、7 月は韓国が **60 万 3,122 人**(2019 年同月比+16.5%)**と最多**であった。次いで台湾が 41 万 2,027 人(同-6.8%)、中国が 25 万 9,775 人(同-73.3%)、香港が 21 万 3,712 人(同+0.5%)、米国が 18 万 4,336 人(同+38.1%)と続く(表 5)。

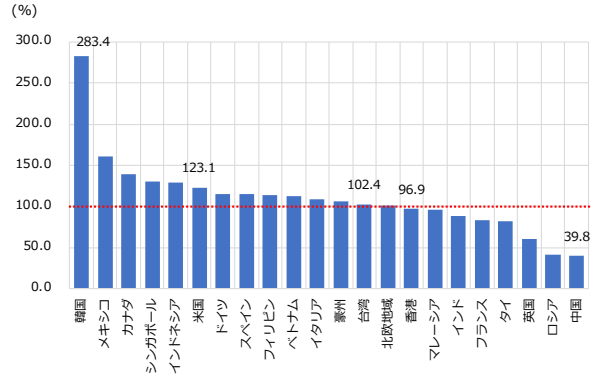
▶訪日外客の先行きについては、中国を除く国・地域を中心に回復が続くと見込まれる。また、足下円安の昂進等の影響もあり、1 人当たりの消費単価は着実に上昇していこう(後掲トピックス 3 参照)。一方、着実に回復するインバウンド需要に対して**日本の労働供給制約**が目立っている。消費単価は着実に上昇しており、持続させていくためにも観光関連産業における**生産性の向上及び人材確保・育成が急務**となろう。

図 1　訪日外客数及び出国日本人数の推移



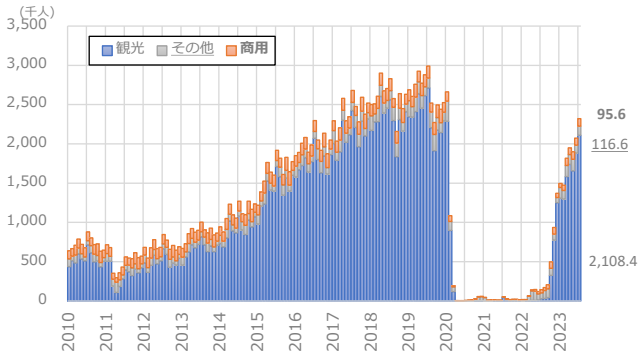
出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 2022 年まで確定値、23 年 1-7 月は暫定値、23 年 8-9 月は推計値

図 2　国・地域別のコロナ禍前回復比較：2023 年 9 月



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成。
注) 韓国の大幅増加は 19 年同月の日韓関係悪化の影響が含まれる。

図 3　目的別訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 目的別訪日外客数については訪日外客数(推計値)から 2 カ月遅れて発表される。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

*なお、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の訪問率のデータが 2023 年 9 月から公表が再開された。このため、中断していた訪問率の月次推計についてはデータの蓄積を待って今後再開する予定である。

トピックス 1

●9 月関西の財貨・サービス貿易及び 8 月のサービス産業動向

▶**関西 9 月の輸出額**は前年同月比-2.2%と **5 カ月連続で減少**した(前月：同-4.1%)。また、**輸入額**は同-15.4%と **6 カ月連続で減少**し、5 カ月連続で 2 桁のマイナスとなった(前月：同-15.7%)。輸出入いずれも減少したが、輸入の減少幅が輸出のそれを大きく上回ったため、9 月の**貿易収支は**+3,225 億円と、**8 カ月連続の黒字**。黒字幅は同+307.7%拡大した(図 4)。結果、7-9 月期は+6,690 億円と 4 四半期連続の黒字となり、前年同期差+6,849 億円拡大した。

▶**対中貿易動向**をみると、**関西 9 月の対中輸出**は前年同月比-7.1%と **5 カ月連続で減少**し、減少幅は前月(同-0.6%)から拡大した。輸出減に寄与したのは半導体等電子部品や事務用機器等であった。また、**対中輸入**は同-5.9%と **5 カ月連続の減少**(前月：同-11.8%)。輸入減に寄与したのは医薬品及び衣類及び同附属品等であった(図 5)。7-9 月期の対中輸出は前年同期比-8.1%と 3 四半期連続、対中輸入は同-11.4%と 2 四半期連続でいずれも減少(4-6 月期：輸出：同-4.7%、輸入：同-5.4%)。対中貿易は停滞している。

▶**9 月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は** 59 万 1,610 人であった(前月：59 万 1,846 人)。2019 年同月比では-1.4%、前月(同-11.1%)から減少幅は縮小し、**コロナ禍前の 9 割超を回復**。また、日本人出国者数は 17 万 7,471 人であった。同-47.4%、前月(同-48.4%)からマイナス幅は幾分縮小。**7-9 月期の訪日外客数は** 178 万 4,702 人、3 四半期連続で 100 万人超の水準となった。19 年同期比-12.2%、**コロナ禍前の 9 割弱を回復**(前期：同-33.2%)。同期の日本人出国者数は 54 万 6,371 人、前期(31 万 8,620 人)から増加。同-49.0%、前期(同-65.3%)から減少幅は縮小し、アウトバウンド需要は緩やかに回復しつつある(図 6)。

▶**8 月のサービス業の活動は小幅悪化だが、持ち直しを維持**。サービス業の生産活動を示す**第 3 次産業活動指数**(季節調整済み：2015 年平均=100)をみれば(図 7)、8 月は 101.8 で前月比-0.1%小幅低下し、**2 カ月ぶりのマイナス**となった(前月：同+1.1%)。また、対面型サービス業指数*は 98.8 で、同-0.2%低下し、2 カ月ぶりのマイナス(前月：同+7.2%)。うち、運輸業(同-5.0%、3 カ月ぶり)が低下に寄与した。

▶**観光関連指数****(2015 年平均=100)は、8 月は 94.8 と前月比+5.6%上昇し、2 カ月連続のプラス(前月：同+0.7%)(図 7)。夏季休暇による旅行需要の増加やイベントの開催にもあり、**飲食店、飲食サービス業**(同+9.5%、2 カ月連続)や**旅客運送業**(同+4.5%、2 カ月ぶり)が上昇に寄与した。

*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

**観光関連指数は第 3 次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店，飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図 4 関西 対世界貿易の推移

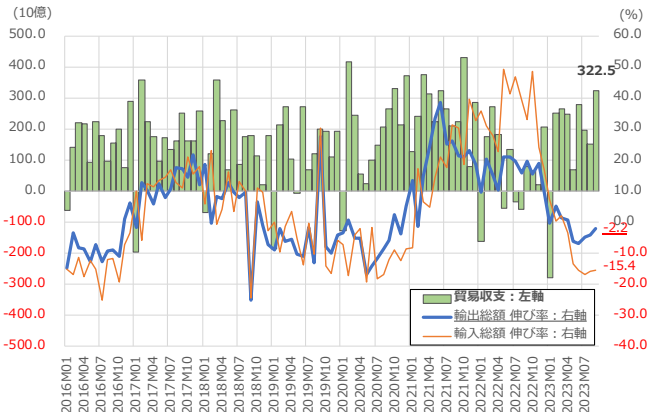
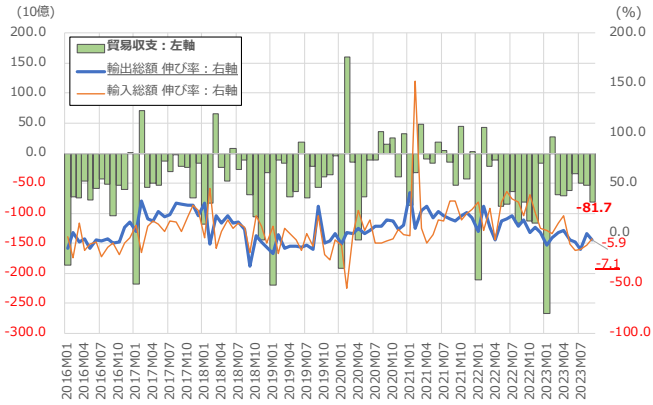
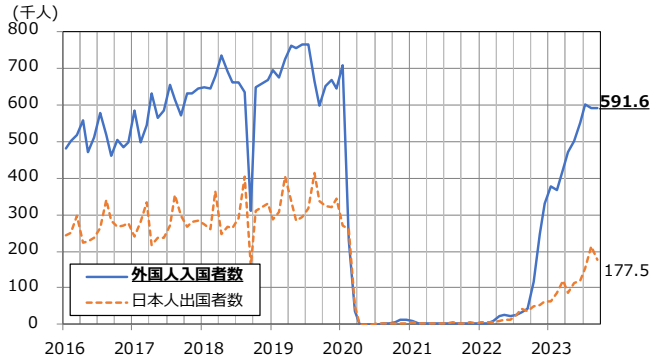


図 5 関西 対中貿易の推移



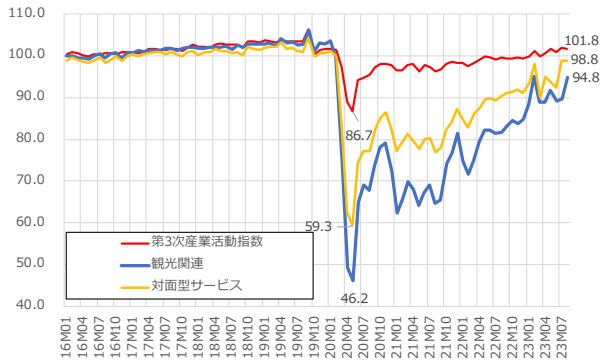
出所：「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」より筆者作成

図 6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2023 年 9 月値は速報値

図 7 観光関連 対面型サービス 第 3 次産業：2015 年=100



出所：経済産業省「第 3 次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

●7 月延べ宿泊者数の動向：関西 2 府 8 県

▶観光庁によれば、7 月の**関西 2 府 8 県の延べ宿泊者数**(全体)は 10,270.0 千人泊であった(表 1)。2019 年同月比では-3.1%と 7 カ月連続の減少だが、前月(同-3.7%)から減少幅は小幅縮小した。なお、2 府 4 県ベースでは同+0.5%と 7 カ月ぶりの増加となっている。

▶7 月の**日本人延べ宿泊者数**は 7,100.7 千人泊となった。**2019 年同月比-4.3%と 4 カ月連続で減少**しており(前月：同-2.4%)、**日本人宿泊者の回復は足踏み**となっている(表 1 及び図 8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府 2,443.5 千人泊、京都府 1,411.9 千人泊、兵庫県 1,145.8 千人泊、三重県 530.3 千人泊、滋賀県 370.7 千人泊、和歌山県 367.1 千人泊、福井県 307.3 千人泊、奈良県 193.3 千人泊、鳥取県 174.4 千人泊、徳島県 156.5 千人泊であった。2019 年同月比をみれば、**奈良県**(同+11.1%)、**兵庫県**(同+5.0%)、**京都府**(同+1.0%)や**大阪府**(同+0.9%)が**プラス**となった。

▶7 月の**外国人延べ宿泊者数**は 3,169.3 千人泊となった。2019 年同月比-0.4%と減少幅は前月(同-6.5%)から縮小しており、**コロナ禍前を回復しつつある**(表 1 及び図 9)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府 1,812.7 千人泊、京都府 1,136.4 千人泊、兵庫県 80.7 千人泊、和歌山県 52.0 千人泊、奈良県 31.6 千人泊、滋賀県 19.0 千人泊、三重県 14.3 千人泊、徳島県 10.9 千人泊、鳥取県 7.6 千人泊、福井県 4.2 千人泊であった。2019 年同月比でみると、**徳島県**(同+14.2%)、**京都府**(同+6.5%)や**大阪府**(同+3.0%)が**プラス**となった。

▶関西 2 府 8 県延べ宿泊者を居住地別でみると(図 10)、県内の延べ宿泊者数は 1,525.7 千人泊、県外は 8,447.6 千人泊であった。2019 年同月比をみれば、県内は同+12.4%と 20 カ月連続のプラスとなり、前月(同+1.2%)から増加幅は拡大。また、県外は同-1.8%と前月(同-0.4%)から減少幅が拡大した。

図 8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

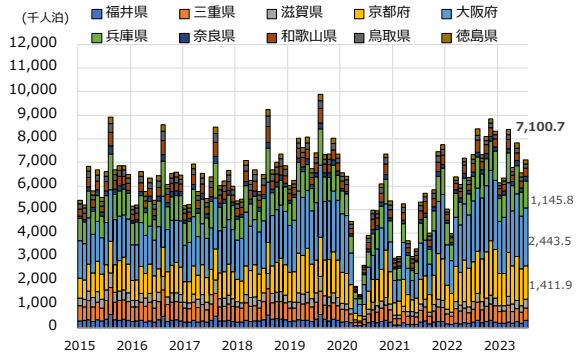


図 9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

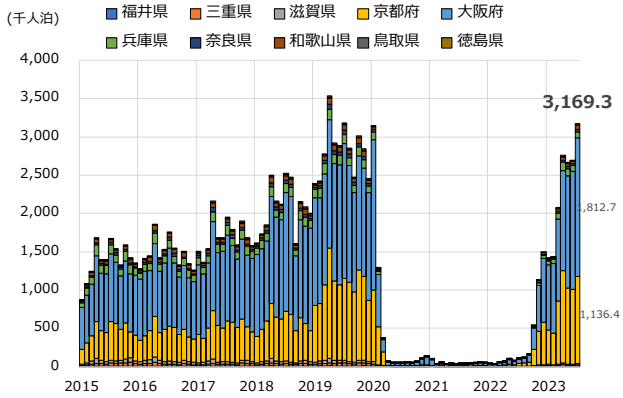
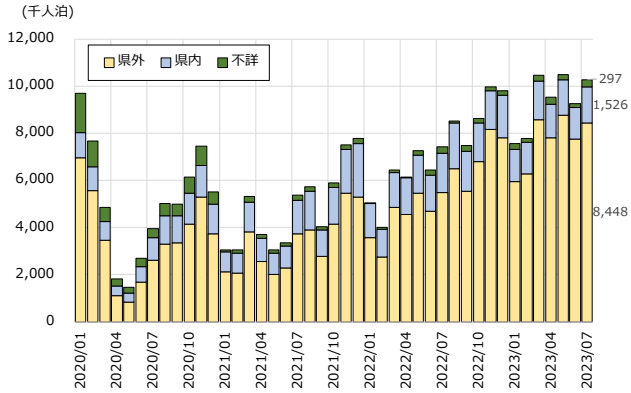


図 10 関西 居住地別延べ宿泊者比率の推移



注) 県外の宿泊者には外国人宿泊者も含まれる。

表 1 関西 延べ宿泊者数伸び率：7 月

2023年7月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数：(千人泊)	19年比伸び率：7月(%)	19年比伸び率：6月(%)	延べ宿泊者数：(千人泊)	19年比伸び率：7月(%)	19年比伸び率：6月(%)	延べ宿泊者数：(千人泊)	19年比伸び率：7月(%)	19年比伸び率：6月(%)
福井県	311.6	-16.1	-29.1	307.3	-15.8	-28.3	4.2	-34.4	-57.3
三重県	544.5	-27.3	-28.5	530.3	-25.0	-26.2	14.3	-65.6	-66.7
滋賀県	389.7	-10.2	-19.9	370.7	-7.2	-16.4	19.0	-44.6	-56.3
京都府	2,548.3	3.4	3.1	1,411.9	1.0	5.8	1,136.4	6.5	-1.0
大阪府	4,256.2	1.8	-1.7	2,443.5	0.9	-1.5	1,812.7	3.0	-1.9
兵庫県	1,226.4	0.8	6.6	1,145.8	5.0	12.1	80.7	-35.6	-35.4
奈良県	224.9	-3.6	-9.4	193.3	11.1	1.8	31.6	-46.7	-52.9
和歌山県	419.2	-14.5	-11.6	367.1	-14.4	-6.9	52.0	-14.6	-37.5
鳥取県	181.9	-26.8	-12.4	174.4	-24.2	-8.2	7.6	-59.1	-67.8
徳島県	167.4	-20.2	-0.1	156.5	-21.8	0.8	10.9	14.2	-16.6
関西2府4県	9,064.6	0.5	-0.6	5,932.3	0.3	1.7	3,132.3	0.9	-5.2
関西2府8県	**10,270.0**	**-3.1**	**-3.7**	**7,100.7**	**-4.3**	**-2.4**	**3,169.3**	**-0.4**	**-6.5**
全国	52,543.2	1.5	-1.1	41,729.1	1.8	-0.7	10,814.1	0.1	-2.6

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図 8～10 及び表 1)

トピックス 3

●2023 年 7-9 月期訪日外国人消費の動向

▶観光庁によれば、**2023 年 7-9 月期の訪日外国人消費額**(1 次速報、全目的ベース)は **1 兆 3,904 億円**であった(4-6 月期：1 兆 2,319 億円)(図 11)。**2019 年同期比+17.7%とコロナ禍前を回復**した。

▶訪日外国人消費のトップ 5 を国・地域別(その他を除く)にみれば(図 12)、中国が 2,827 億円(2019 年同期比-42.6%)で最も多かった。次いで台湾が 2,046 億円(同+50.8%)、韓国が 1,955 億円(同+109.8%)、米国が 1,439 億円(同+81.9%)、香港が 1,342 億円(同+59.2%)と続く。**人数ベースでは韓国がトップ**となっているが、**消費額ベースでは中国がトップとなっていることに注意。**

▶**1 人当たり旅行支出**(全目的)は **21 万 810 円**となった。**2019 年同期比+29.4%と、3 四半期連続でコロナ禍前を上回った(4-6 月期：20 万 8,665 円、同+34.7%)**。国・地域別にみれば、フランスが 35 万 7,775 円(同+40.2%)と最も高い。次いで、スペインが 34 万 9,718 円(同+57.8%)、イタリアが 34 万 1,870 円(同+63.6%)、英国が 32 万 8,422 円(同+84.9%)、オーストラリアが 32 万 286 円(同+46.6%)となっている(表 2)。

▶**1 人 1 泊当たり旅行支出をみれば**、1 万 8,822 円となり、**2019 年同期比+20.2%増加**した。費目別では、宿泊費、飲食費、交通費、娯楽等サービス費、その他がいずれも増加した。一方、買い物代は同-1.7%と 3 四半期連続で減少した(1-3 月期：同-6.6%、4-6 月期：同-23.3%)。**モノ消費からコト消費へと訪日外客の嗜好が変化**しつつある(表 3)。

*トピックス 3 は四半期ごとの掲載である。

**「全目的」とは、観光・レジャー目的以外に、業務、留学、親族・知人訪問等の目的の旅行者を含む。ただし、1 年未満の滞在者が対象である。

図 11 訪日外国人消費額の推移

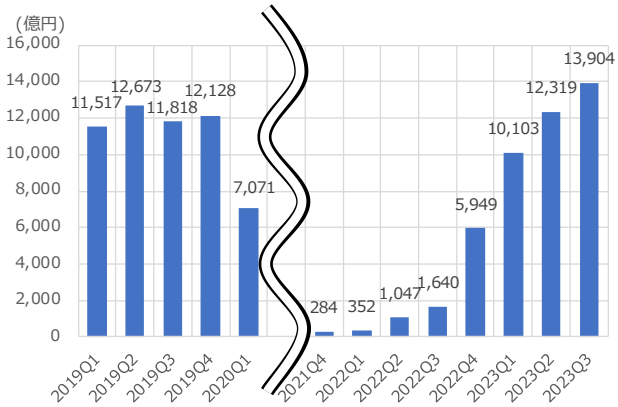
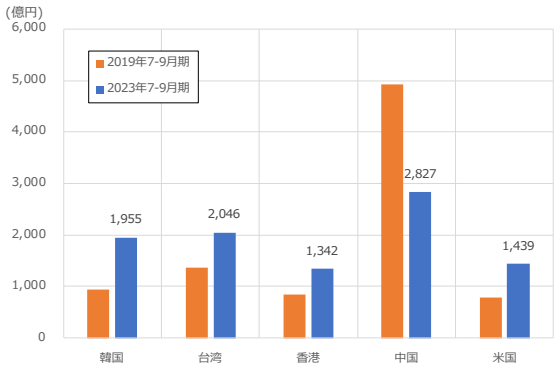


図 12 訪日外国人消費額の上位 5 か国・地域：2023 年 7-9 月期



(注)「訪日外国人」には、観光・レジャー目的に加えビジネス目的や親族･知人訪問目的などで日本を訪れた外国人が含まれる。日本に居住している外国人は含まれない。「クルーズ客」は船舶観光上陸許可者。2019 年は確報、23 年 7-9 月期は速報。
出所:観光庁『訪日外国人消費動向調査』より作成(上図も同様)

表 2 国・地域別一般客 1 人当たり旅行支出(全目的)：2023 年 7-9 月期

国･地域	全体	韓国	台湾	香港	中国	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	フィリピン	ベトナム
2019年7-9月期(円/人)	162,860	87,032	114,360	153,544	203,576	149,850	153,238	133,041	135,682	95,811	181,017
2023年7-9月期(円/人)	210,810	110,686	177,823	233,887	284,934	180,543	256,496	215,478	201,116	166,434	188,835
19年同期比(%)	+29.4	+27.2	+55.5	+52.3	+40.0	+20.5	+67.4	+62.0	+48.2	+73.7	+4.3
国･地域	**インド**	**英国**	**ドイツ**	**フランス**	**イタリア**	**スペイン**	**ロシア**	**米国**	**カナダ**	**オーストラリア**	**その他**
2019年7-9月期(円/人)	148,328	177,608	189,867	255,267	208,944	221,568	188,173	198,736	170,991	218,474	224,345
2023年7-9月期(円/人)	215,085	328,422	274,691	357,775	341,870	349,718	-	291,537	261,416	320,286	314,812
19年同期比(%)	+45.0	+84.9	+44.7	+40.2	+63.6	+57.8	-	+46.7	+52.9	+46.6	+40.3

表 3 一般客 1 人 1 泊当たり旅行支出(全目的)：2023 年 7-9 月期

1 人 1 泊当たり旅行支出	総額	費目別						平均泊数(泊)
		宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他	
2019Q3(円/人)	15,660	4,787	3,515	1,729	648	4,977	3	10.4
2023Q3(円/人)	18,822	6,453	4,308	2,174	990	4,890	7	11.2
19年同期比(%)	20.2	34.8	22.6	25.7	52.7	-1.7	127.9	0.8

(注)国籍・地域別の結果については、従来に比べて入国者数が少ないため十分な回答数が確保できない等の理由から、標準誤差率の大きい国籍・地域もある。
出所：観光庁『訪日外国人消費動向調査』より作成。

表 4 2023 年 9 月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対 2019 年比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)
	9月	9月		1-9月	1-9月	
総数	2,272,883	2,184,300	-3.9	24,417,820	17,374,300	-28.8
総数(中国除く)	1,453,829	1,858,700	27.8	17,015,242	15,776,500	-7.3
韓国	201,252	570,400	183.4	4,934,315	4,894,800	-0.8
中国	819,054	325,600	-60.2	7,402,578	1,597,800	-78.4
台湾	376,186	385,300	2.4	3,736,530	2,974,600	-20.4
香港	155,927	151,100	-3.1	1,660,886	1,483,600	-10.7
タイ	62,057	50,500	-18.6	868,443	631,100	-27.3
シンガポール	29,147	38,100	30.7	284,644	336,400	18.2
マレーシア	28,778	27,500	-4.4	309,491	258,300	-16.5
インドネシア	25,021	32,300	29.1	282,269	283,200	0.3
フィリピン	37,758	42,800	13.4	402,119	410,300	2.0
ベトナム	38,325	43,000	12.2	376,043	439,600	16.9
インド	15,895	14,100	-11.3	135,365	119,500	-11.7
豪州	60,498	64,000	5.8	449,228	401,900	-10.5
米国	127,190	156,600	23.1	1,277,007	1,466,100	14.8
カナダ	28,525	39,800	39.5	269,147	298,800	11.0
メキシコ	6,282	10,100	60.8	51,367	63,200	23.0
英国	49,580	29,700	-40.1	290,419	230,600	-20.6
フランス	26,530	22,000	-17.1	252,325	201,200	-20.3
ドイツ	22,768	26,300	15.5	177,104	172,100	-2.8
イタリア	13,354	14,600	9.3	124,492	112,000	-10.0
スペイン	11,472	13,200	15.1	98,674	83,000	-15.9
ロシア	10,454	4,300	-58.9	83,720	27,100	-67.6
北欧地域	9,721	9,800	0.8	103,880	81,800	-21.3
中東地域	8,678	13,500	55.6	67,815	84,100	24.0
その他	108,431	99,700	-8.1	779,959	723,200	-7.3

表 5 2023 年 7 月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (対 2019 年比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)
	7月	7月		7月	7月		7月	7月		7月	7月	
総数	2,991,189	2,320,694	-22.4	2,713,329	2,108,438	-22.3	153,430	95,646	-37.7	124,430	116,610	-6.3
韓国	561,675	626,830	11.6	517,548	603,122	16.5	28,319	14,517	-48.7	15,808	9,191	-41.9
中国	1,050,420	313,328	-70.2	973,293	259,775	-73.3	37,223	24,375	-34.5	39,904	29,178	-26.9
台湾	459,216	422,356	-8.0	441,976	412,027	-6.8	10,710	6,438	-39.9	6,530	3,891	-40.4
香港	216,810	216,413	-0.2	212,590	213,712	0.5	3,285	1,655	-49.6	935	1,046	11.9
タイ	73,202	49,613	-32.2	67,670	45,754	-32.4	3,136	1,890	-39.7	2,396	1,969	-17.8
シンガポール	21,716	25,320	16.6	18,078	23,265	28.7	3,236	1,743	-46.1	402	312	-22.4
マレーシア	22,957	17,357	-24.4	19,890	15,515	-22.0	2,233	1,220	-45.4	834	622	-25.4
インドネシア	25,215	28,489	13.0	19,111	18,933	-0.9	2,510	1,487	-40.8	3,594	8,069	124.5
フィリピン	37,771	51,711	36.9	30,686	43,195	40.8	2,499	3,309	32.4	4,586	5,207	13.5
ベトナム	40,762	44,773	9.8	17,324	17,302	-0.1	3,652	2,858	-21.7	19,786	24,613	24.4
インド	13,222	13,150	-0.5	5,133	6,571	28.0	5,593	4,131	-26.1	2,496	2,448	-1.9
豪州	34,873	35,650	2.2	31,016	32,903	6.1	2,676	1,904	-28.8	1,181	843	-28.6
米国	156,865	198,845	26.8	133,516	184,336	38.1	17,128	9,719	-43.3	6,221	4,790	-23.0
カナダ	29,285	38,786	32.4	26,663	37,415	40.3	1,665	786	-52.8	957	585	-38.9
メキシコ	8,661	9,986	15.3	8,132	9,606	18.1	332	232	-30.1	197	148	-24.9
英国	28,928	26,965	-6.8	22,762	23,572	3.6	4,448	2,156	-51.5	1,718	1,237	-28.0
フランス	34,634	31,132	-10.1	29,836	28,091	-5.8	3,204	1,835	-42.7	1,594	1,206	-24.3
ドイツ	18,593	19,081	2.6	13,312	15,781	18.5	4,288	2,548	-40.6	993	752	-24.3
イタリア	13,566	13,969	3.0	11,313	12,341	9.1	1,780	1,240	-30.3	473	388	-18.0
ロシア	9,005	3,239	-64.0	6,380	2,186	-65.7	1,884	649	-65.6	741	404	-45.5
スペイン	15,771	12,985	-17.7	14,341	12,208	-14.9	900	427	-52.6	530	350	-34.0
中東地域	6,813	9,937	45.9	5,331	8,576	60.9	1,099	868	-21.0	383	493	28.7
その他	111,229	110,779	-0.4	87,428	82,252	-5.9	11,630	9,659	-16.9	12,171	18,868	55.0

注) 目的別訪日外客数の定義については、図 3 注参照。
出所: 日本政府観光局(JNTO)、2023 年 10 月 18 日付より筆者加工